

## テルペノイドと生命の起源

～古生化学の観点から見た生命の形成史～

講師：星野 洋輔 博士

Research scientist at GFZ German Research Centre for Geosciences, Potsdam, Germany



日時：2022年11月30日(水) 16:00～17:30

会場：理農館 SA329号室

テルペノイド(またはイソプレノイド)は、現存する全生物の共通祖先時代より以前から存在していた、極めて古い起源をもつ生体物質です。テルペノイドは自然界で最も多様な有機物質群であり、単細胞性のバクテリアから多細胞真核生物まで、地球上で知られているすべての生命において中心的な枠割を果たしています。今日存在するテルペノイドは機能的にも構造的にも著しく多様なため、一見共通性を見出すのが困難なほどです。しかしながら、現代のテルペノイド生化学を詳しく検証していくと、テルペノイドがこれまで辿ってきた進化の道筋が、今も保存されていることがわかります。このセミナーでは、複雑なテルペノイド生化学の歴史を紐解き、最初期の生命が有していたテルペノイドとその機能を探ります。さらに生命の誕生に際し、今も謎に包まれている無機的な化学から生化学への移行過程についても考察を行います。セミナー後半では、海外でのキャリア形成や海外生活についても話します。

